

市民の生命を守るため、独自の保健所設置を



古沢 耕作
議員



新型コロナに対し、市として、きちんとした対策を取るためには正確な情報をスピーディーに得ることが重要です。そうした面からも、市が自前の保健所を持つことの意義は大きいと考えます。

全国には、千葉県市川市のように、市長が「効率的な新型コロナウイルス対策には、自前の保健所を持つことが必要不可欠」として、設置要件となる中核市への移行、そして、保健所の設置を目指すことを表明した自治体もあります。

お隣の越谷市は、中核市となつて保健所を設置しました。春日部市も、中核市に移行する要件（人口20万人以上）を既に満たしています。

①自治体が、独自の保健所を設置するメリットには、どのようなものがありますか。

②石川市長に伺います。「市民の生命に責任を持ち、自ら市民の命を守る」という観点

から、市長は保健所を独自に設置する、という選択肢をお持ちですか。

○健康保険部長

①保健所を持つことで、本市の特性や、新型コロナウイルスの感染状況に応じた、より柔軟な対応ができるようになると考えられます。

○市長

②市が独自に保健所を設置し、運営するためには、さまざまな課題があると考えています。このほか

○クレヨンしんちゃんミュージアムを、商工振興センター跡地に



本市にも独自の保健所を（イメージ）

「（仮称）科学技術学習児童館」について



海老原光男
議員



初めに、建設候補区域として市内を七つの区域に分け、交通の利便性や公共施設の立地状況等の環境、関連計画との整合性、既存児童センターの有無の3項目について検討した結果、武里区域を選定されたわけですが、利用する子ども的人数が気になります。そこで、対象となる各地域の子ども的人数を伺います。

次に、市の公共施設マネジメント基本計画では、新たな土地の購入や建設をしないことを基本としています。新規の土地の購入を考えているのか。また、武里団地内の周辺公共施設との複合化などの考えがあるのか伺います。

○こども未来部長

各地域の0〜17歳までの子ども的人数は、粕壁地区566人、内牧地区1852人、幸松地区3095人、豊野地区2531人、武里地区6347人、豊春地区5720人、

庄和地区5334人です。建設用地の確保については、今後、武里団地を所有しているUR都市機構と協議を進めたいと考えています。

また、周辺公共施設との複合化については、春日部市公共施設マネジメント基本計画において、機能の複合化等による効率的、効果的な施設配置を進めるよう定められていますので、施設の築年数、稼働率や利用者数、施設規模、複合化することにより相乗効果が見込める施設であるか、の四つの視点を踏まえ、検討を行ってまいります。

学校教育に強い権限を持つ学校運営協議会制度の導入は中止を



松本 浩一
議員



4月から導入される学校運営協議会は、①校長が作成する学校運営の基本方針の承認をする、②学校運営について教育委員会または校長に意見を述べることができる、③教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べることができるといった三つの権限を持

つこととなります。導入が努力義務化されてから4年になり、県内では632校、51.7%ですが、全国の導入状況はどうなっているでしょうか。

学校と地域住民・保護者が力を合わせることは重要なことですが、この制度は地域住民全員が直接関与するわけではありません。さまざまな人々に、さまざまな形で学校に関わってもらうことが重要です。現在でも多くの人が関わっており、このような権限を持つ制度を導入しなくても特段支障はありません。権限が強い、関わりが一部に偏る、教職員が多忙になるなどの問題があるので導入はやめるべきと考えますが、どうでしょうか。

○学務指導担当部長

令和2年7月現在、全国では8681校、30.7%です。

○教育長

学校運営協議会の導入は、保護者や地域住民が子どもたちの教育の当事者としての意識を高め、より良い学校づくりを目指して主体的に支援をしていただくためのものです。地域に根差し、支えられ、誇りにされる、魅力ある学校づくりのため、段階的に導入していきます。

**ためらわずに申請できる
生活保護行政に**



並木 敏恵
議員

厚生労働省のホームページには「生活保護を申請したい方へ。生活保護の申請は、国民の権利です。生活保護を必要とする可能性はどなたにもあるものですので、ためらわずにご相談ください」と大きく書かれています。

市の窓口に来られた方には、申請権を侵害していると疑われることのないよう、速やかに申請の意思を確認し、必要な情報のみを聴取すべきですが、対応はどうか。

親族への扶養照会が、生活保護申請をためらう壁になっています。親族に相談してからでない申請できないかのような説明はすべきではありませんが、現実はどうか。

生活保護を申請するまでに現金をほぼ使い果たしている方が少なくありません。食事に事欠く状態が放置されないよう、速やかな保護決定と必要な支援をお願いしたい。

○福祉部長

相談窓口に来られた方に対し、まずは相談の目的を伺い、生活保護制度を丁寧に説明した上で、速やかな確認に努めています。その上で申請の意思を示された方には、速やかに申請手続きを行っています。

扶養照会につきましては、申請者との間柄、関係性などを聴取して、一定の条件の下、照会を実施しない運用を行っています。

緊急性を要すると判断した場合には、まずはその方の命の安全を確保するよう速やかな保護の決定に努めています。

**学校給食の
公会計化について**



中川 朗
議員

国はガイドラインで示されるように学校給食費の公会計化を推奨していますが、公会計化の導入によって、どのような効果が期待できるのか。また、導入の必要性をどのように捉えているのか伺います。

併せて、導入の支障となっている課題や、課題の解消に向

けた対応策、導入に向けたスケジュールについて伺います。

○学務指導担当部長

効果ですが、教職員の業務負担軽減が図られ、これまで以上に子どもに向き合う時間が確保されます。さらに、透明性の向上が図られるとともに、市が誇るおいしい給食を安定的に提供できます。また、多様な納入方法を導入することで保護者の利便性の向上も図れるなど、多くの効果が期待でき、導入の必要性についても十分認識しています。

課題としては、徴収・管理システムの構築に伴う予算や徴収業務を担う人員の確保、春日部地域と庄和地域で異なる会計方式の統合、収納率の維持・向上、未納・滞納対策にも取り組む必要があります。

課題解消のため、来年度より庁内検討委員会、学校検討委員会を組織し、システム構築をはじめ給食費の徴収方法、食材の契約・発注方法や債権の継承等についてもしつかり検討を進め、令和5年4月から導入できるよう準備を進めていきたいと考えています。

このほか

○情報システムの活用について

**北春日部駅周辺地区
土地区画整理事業地内に
児童相談所の設置を**



今尾 安徳
議員

一昨年、9月県議会での秋山文和議員は、「人口20万人以上の都市には県の児童相談所を置くべきです。同規模の上尾市や草加市には県の児童相談所があるのですから、春日部市にも設置を」と県知事に質問したのに対して、大野知事は、「現段階では、どの市、どのエリアと申し上げることはできませんが、新規での設置を含め、増設を鋭意進めていくことを明言させていただきます。」と答えました。

県の児童虐待防止対策について、本市の認識を伺います。

また、現在進められている北春日部駅周辺土地区画整理事業地内に児童相談所の設置をすべきと考えますが、市長の考えを伺います。

○こども未来部長

県が行う児童相談所の整備等につきましては、市町村の人口や相談対応件数などを考

慮するほか、中核市の児童相談所の設置意向を確認しながら、管轄する区域や設置場所を再編していくと伺っています。児童虐待対応における児童相談所の役割は大きく、児童相談所の新設や増設、機能強化につきましては、大変重要なことと考えています。

今後も県や中核市の動向に注視してまいります。

○市長

引き続き県の動向を注視していく中で、北春日部駅周辺と限定せず、機会を捉えて本市への設置について要望してまいります。



増設が求められる児童相談所 (イメージ)

豊春地区古隅田川流域の治水対策



水沼日出夫 議員

豊春地区の治水対策は、排水路等の機能不全の解消、排水力の強化及び貯留施設の整備による三つの合わせ技をもつて取り組むべきと考えます。そこで以下お伺いします。

- ①豊春地区古隅田川流域における治水対策②古隅田川支流域における浸水被害軽減対策③古隅田川流域における治水対策の方針

- 建設部長
- ①豊春地区古隅田川流域では、古隅田川の洪水を調節する貯留施設として、県において旧古隅田川との合流部付近に上院調節池の整備を進めています。平成15年度より暫定的に供用を開始しており、令和元年10月の台風19号でも、上院調節池が満水になるまで古隅田川左岸の越流堤より雨水を取り込み、浸水被害の軽減に大きく貢献しました。
- ②旧古隅田川においては、令和2年度に創設された緊急浚

渫推進事業債を活用し、河道に堆積した土砂を掘削する工事を進めます。除草や清掃などの維持管理を行いながら、河道断面と川の流れを確保し、浸水被害の軽減に努めていきたいと考えています。

③令和3年度から、旧古隅田川において、堆積した土砂の掘削を上流部から進めていきます。浚渫による流れの改善効果を見ながら、必要に応じ逆流、滞留防止等の措置も図っていきます。こうした維持管理により、川や水路の流れの本来の機能が十分発揮できるよう努めていきます。



春日部市側土手から望む上院調節池（上蛭田）

新型コロナウイルス接種に関する緊急要望を提出しました

本市における市民の感染者は減少傾向とはいえ、予断を許さない状況であり、新型コロナウイルスワクチンの接種が一日でも早く開始されることが待たれるところです。

新型コロナウイルス感染症の収束がいまだ見えない中、感染拡大を防止し、市民の生命と健康を守るため、春日部市議会においても全力で支援してまいりますので、執行部においても以下の事項に全力を挙げて取り組まれるよう要望し、令和3年2月19日に春日部市新型コロナウイルス対策本部長である石川市長へ要望書を提出しました。

- 《要望事項》
- ①ワクチン接種体制の確立
 - ②ワクチン接種会場への移動困難者への適切な対応
 - ③円滑な接種に向けた市民周知の徹底
 - ④ワクチン接種事業の担当組織の充実
 - ⑤ワクチン接種に関する相談窓口（コールセンター）の設置及び充実
 - ⑥ワクチン接種に係る不審電話に対する注意喚起

新型コロナウイルス接種に関する緊急要望を市長へ提出する様子。（写真2枚とも右から鈴木副議長、佐藤議長）



閉会中の委員会活動

- ▽議会運営委員会
 - 1月26日
 - ・令和3年第1回（1月）臨時会の運営について
 - 2月15日
 - ・令和3年3月定例会の運営について
- ▽議会改革検討特別委員会
 - 1月22日
 - ・新本庁舎議場に関する検討結果について
 - ・議会基本条例の評価等について
 - 2月12日
 - ・議員定数について
- ▽全員協議会
 - 1月28日
 - ・春日部市本庁舎整備実施設計（案）の報告について
 - 3月26日
 - ▽広報広聴委員会
 - ・議会だより第63号について
 - 4月6日
 - ▽図書室運営委員会
 - ・令和2年度図書費決算について
 - ・令和3年度図書費予算（案）について



・議員定数について
・会議規則の一部改正について

議会の傍聴について（お願い）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議会の本会議および委員会の傍聴につきましては、当面の間、できる限りお控えいただくよう、お願いしております。

本会議の審議の様子は、インターネット議会中継でもご覧いただくことができますので、ぜひご利用ください。

議会中継は市議会ホームページからどうぞ



なお、議場で傍聴される場合は、次の点にご協力をお願いいたします。

- ・受付にて体温を測定し、37.5度以上の発熱がある場合は傍聴できません
- ・マスクの着用
- ・手指消毒液の使用（傍聴受付に用意しています）
- ・他の傍聴人との距離を空けて着席



皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

19	17	16	12	11	9	8	5	4	3	2	3/1	26	25	2/19	月日
委員長報告、議案および請願に対する討論・採決、閉会	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	建設委員会・教育環境委員会	建設委員会・教育環境委員会	総務委員会・厚生福祉委員会	総務委員会・厚生福祉委員会	議会改革検討特別委員会	議案に対する質疑	議案に対する質疑	議案に対する質疑	議案に対する質疑	開会、議人事、議案等の上程・説明	主な日程

今定例会の開催状況

図書室運営委員会委員

(新) 山口 剛一
(旧) 酒谷 和秀

広報広聴委員会委員

(新) 山口 剛一
(旧) 酒谷 和秀

議会人事

今定例会におきまして、議会展出各種委員会委員の一部に変更がありました。

編集後記

3月は防災を深く考える月でもあると考えます。10年前発生した東日本大震災は多くの犠牲を生じさせ、多くの悲しみも体験しました。その後地震や水害等自然は不意に私たちの生活を脅かしてきます。自然を抑えることは不可能です。私たちにできることは、備えることです。ご家庭で、最低限の備えは必要です。ぜひ、ご家族やご近所の方等と、もしもに備え、お話ししておくことをお勧めいたします。備えは安心な生活の基本です。

緊急事態宣言発令下において開会された3月定例会は、令和3年度の予算審議が中心として行われました。コロナ禍において全国の地方公共団体の財政運営が大変厳しいといわれる中、春日部市も例外ではなく、例年以上に弾力性、余裕のない予算となりました。コロナ禍の中、地域の停滞化・市民サービス低下を招かぬよう、市議会として、今以上に市政運営を注視し、市民の皆さまのご意見を届けるよう働きかけてまいります。

次の定例会は
5月28日（金）
開会予定です



広報広聴委員会

- | | |
|--------|-------|
| 委員長 | 永田 飛鳳 |
| 副委員長 | 坂巻 勝則 |
| 委員 | 榛野 博 |
| 委員 | 水沼日出夫 |
| 委員 | 今尾 安徳 |
| 委員 | 山口 剛一 |
| 委員 | 木村 圭一 |
| 委員 | 荒木 洋美 |
| オブザーバー | |
| 議長 | 佐藤 一 |
| 副議長 | 鈴木 一利 |

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111（代表）

内線3116